

ゾフルーザ錠 10mg  
ゾフルーザ錠 20mg

【この薬は？】

販売名	ゾフルーザ錠 10 mg XOFLUZA Tablets 10mg	ゾフルーザ錠 20 mg XOFLUZA Tablets 20mg
一般名	バロキサビル マルボキシル Baloxavir Marboxil	
含有量 (1錠中)	10mg	20 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗インフルエンザウイルス剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、A型およびB型インフルエンザウイルスの増殖を抑えることでインフルエンザの症状を緩和します。また、インフルエンザウイルス感染を予防します。
- ・次の目的で処方されます。

**A型又はB型インフルエンザウイルス感染症及びその予防**

効能・効果	錠 10 mg	錠 20 mg
治療	○	○
予防	—	○

○：効能あり、—：効能なし

- ・この薬は、細菌感染症には効果がありません。
- ・この薬を予防に用いる場合は、原則として、インフルエンザウイルス感染症を発症している患者さんの同居家族または共同生活者のうち、インフルエンザにかかった時に、重症化のリスクが高いと判断される次の人が対象となります。
  - ・高齢の人（65歳以上）
  - ・慢性呼吸器疾患または慢性心疾患の人
  - ・代謝性疾患（糖尿病など）の人など

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチンによる予防です。この薬の予防使用は、ワクチンによる予防に置き換わるものではありません。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にゾフルーザ錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・肝臓に重い障害のある人
  - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
  - ・授乳中の人
- 抗インフルエンザウイルス薬の使用の有無または種類にかかわらず、インフルエンザにかかった時は、異常行動を発現した例が報告されています。異常行動による転落などの万が一の事故を防止するために、患者さんやご家族の方は以下の点について理解できるまで十分に説明を受けてください。
  - ・異常行動をおこすおそれがあります。また、転落などの事故に至るおそれのある重度の異常行動については、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いことが知られています。
  - ・自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者の方は転落などの事故に対する防止対策を講じてください。
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数など

飲む量は、あなたの年齢や体重などにあわせて医師が決めます。通常、成人および小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

効能・効果	年齢	体重	1回量	
			ゾフルーザ錠 10 mg	ゾフルーザ錠 20 mg
治療	成人および12歳以上の小児	80 kg 以上	—	4錠
		80 kg 未満	—	2錠
	12歳未満の小児	40 kg 以上	—	—
		20 kg 以上 40 kg 未満	—	1錠

		10 kg 以上 20 kg 未満	1 錠	—
予防	成人および 12歳以上の 小児	80 kg 以上	—	4 錠
		80 kg 未満	—	2 錠
	12歳未満の 小児	40 kg 以上	—	
		20 kg 以上 40 kg 未満	—	

- ・ 1回の使用で効果があります。医師の指示どおり一度に飲んでください。
- ・ この薬を治療に用いる場合は、インフルエンザ様症状があらわれてからできるだけ速やかに（48時間以内に）使用が開始されます。
- ・ この薬を予防に用いる場合は、インフルエンザウイルス感染症の患者さんに接触してから2日以内に使用が開始されます。なお、使用した日から10日を超えた期間のインフルエンザウイルス感染症に対する予防効果は期待できません。

#### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

#### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

### 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ 出血があらわれることがありますので、患者さんや家族の方は以下の点について説明を受けてください。
  - 1) 血便、鼻出血、血尿などがあらわれた場合には医師に連絡してください。
  - 2) 出血は服用してから数日後にあらわれることがあります。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・ 授乳している人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、意識の消失、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
アナフィラキシー	ふらつき、喉のかゆみ、動悸（どうき）、息苦しい、全身のかゆみ、じんま疹
異常行動 いじょうこうどう	異常行動、急に走り出す、徘徊する、普段と違うとつぴな行動をとる
虚血性大腸炎 きょけつせいだいちょうえん	急激な腹痛、血が混ざった下痢
出血 しゅっけつ	出血

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、出血
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
腹部	急激な腹痛
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
便	血が混ざった下痢
その他	異常行動、急に走り出す、徘徊する、普段と違うとつぴな行動をとる

## 【この薬の形は？】

販売名	ゾフルーザ錠 10 mg	ゾフルーザ錠 20 mg
形状	円形の錠剤 	楕円形の錠剤 
PTP シート	 表面 裏面	 表面 裏面
直径	5.0 mm	—
長径	—	8.5 mm
短径	—	4.4 mm
厚さ	2.65 mm	3.40 mm
重さ	61 mg	127 mg
色	白色～淡黄白色	白色～淡黄白色
識別コード	Ⓢ 771 : 10	Ⓢ 772 : 20

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	ゾフルーザ錠 10 mg	ゾフルーザ錠 20 mg
有効成分	バロキサビル	マルボキシル
添加物	乳糖水和物、クロスカルメロースナトリウム、ポピドン、結晶セルロース、フマル酸ステアリルナトリウム	乳糖水和物、クロスカルメロースナトリウム、ポピドン、結晶セルロース、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、酸化チタン、タルク

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：塩野義製薬株式会社

(<https://www.shionogi.com/jp/ja/>)

医薬情報センター

電話：0120-501-074

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）